

地域プロジェクト・マネジメント

網岡 健司

配当年次	2年次	配当学期	1学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	
	実践知識	○ プロジェクトマネジメントに関連する専門的知識を習得する。
技能	分析解決技能	◎ プロジェクトの素材発掘ができ、プロジェクトの実現に必要な分析ができる。
	実務技能	
	新規事業技能	○ プロジェクト構想を企画化し、新規事業計画書を作成する力を身につける。
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	○ プロジェクトの課題を適切に把握し、課題解決策を提案する力を身につける。
	地域リーダー態度	○ 地域のリーダーとしてプロジェクトマネジメントに積極的に取り組むことができる。
	国際協調態度	

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

地域プロジェクト・マネジメント

授業の概要

魅力的で活力ある地域づくり・まちづくりにあたって、国・自治体等の施策や制度の単純導入あるいは企業・事業の誘致等に依存する時代は終焉しつつあり、今後は地域・コミュニティの未来を創造するため、市民（あるいは企業市民）自らが主体的に地域の資源を活用してプロジェクトを発想・企画し、事業化・運営していく意思と行動が求められている。このような地域プロジェクトは、事業目的、分野、事業主体・手法等も多種多様であるが、本コースでは、いくつかの実例等を通じて、プロジェクトを牽引するリーダー（あるいはフォロワー）としてのビジョン、ミッション、パッションを学ぶことを目標としたい。

教科書

必要に応じて指定する

参考書

アルビン・トフラー著「第三の波」、未来の衝撃」、広井良典著「コミュニティを問い直す」「ポスト資本主義」、リチャード・フロリダ著「クリエイティブ資本論」、クリス・アンダーセン著「メーカーズ」など

授業計画・内容

- ① ガイダンス、地域プロジェクト講座の概観
- ② 地域プロジェクトの実際
- ③ 地域課題の分析、発掘
- ④ 公的プロジェクト開発とマネジメント1（基盤整備関連）
- ⑤ 公的プロジェクト開発とマネジメント2（ソフト整備関連）
- ⑥ ソーシャルビジネス分野におけるプロジェクト開発とマネジメント1
- ⑦ ソーシャルビジネス分野におけるプロジェクト開発とマネジメント2
- ⑧ ICT関連プロジェクト： e-PORT 構想など 1
- ⑨ ICT関連プロジェクト： e-PORT 構想など 2
- ⑩ スマートコミュニティ創造事業（東田コジエネ事業など） 1
- ⑪ スマートコミュニティ創造事業（地域エネルギー事業） 2
- ⑫ 各自の地域プロジェクト構想の企画演習 1
- ⑬ 各自の地域プロジェクト構想の企画演習 2
- ⑭ これからの地域プロジェクトの展望：スマートキャピタル、リノベーションなど
- ⑮ 振り返りとまとめ
（*各単元の順番、プロジェクト事例等は変更することがあります）

成績評価の方法

日常の授業への取り組み 30%、課題プロジェクト（レポート40%、プレゼン30%）

事前・事後学習の内容

授業後には、授業の復習をしてください

履修上の注意	2コマ連続の隔週講義を基本とします 個別の地域プロジェクトの関係者等による紹介やディスカッション等を実施
担当者からのメッセージ	民間企業に所属しつつ、行政、大学、NPO 等との協業で取り組んできた様々な地域プロジェクトの実例や推進主体の方々との議論などを通じて実践的な内容としていきたい。
キーワード	コミュニティデザイン、創造的都市、スマートシティ、プロシューマー、多様性と包摂性